

アートで式演出

星槎国際
高校帯広 10月生が卒業

通信制の星槎国際高等学校帯広キャンパス（森実さとみキャンパス長）の10月生卒業証書授与式が23日、帯広経済センタービルで行われた。唯一の卒業生の柳澤さん（20）は不登校を乗り越え在学中打ち込んだ

アートで卒業式を演出、友人らに囲まれ、学びやを巣立った。

柳澤さんは小・中学校で受けたいじめから不登校を経験し、2011年に同キャンパスに入学。絵や物づくりが好きで同級生とともに「アート部」

卒業式では「自分のやってきたことを見てほしい」と、会場内にイラストや漫画など美術作品の数々を展示し演出した。

卒業式では森実キャンパス長が柳澤さんに卒業証書を手渡し、笑顔で握手。在校生を代表して山本貴範君（17）が「一緒にベニヤ板4枚を使った巨大アートに挑戦したことは思い出。星槎で学んだことを忘れず、次につなげてほしい」と送辞を述べた。

柳澤さんはチャップリンの名言「人生はクローズアップで見ると悲劇だが、ロングショットで見ると喜劇」を紹介。「私もロングショットになるよう150歳まで生きたい」と笑顔で語り、

を設立。音楽に合わせ即興で絵を描くライブアートや、粘土人形の動画「クレイアニメ」にも取り組み、市内の福祉施設やイベントで披露してきた。今回の

森実キャンパス長から卒業証書を受け取り握手する柳澤さん

（左）
（高津祐也）

